



まちのできごと

10/6 若草保育所への寄贈 アルコール消毒液の寄贈

この日、若草保育所において雄武町商工会女性部本部長の本田ルミ氏から、新型コロナウイルス感染症予防対策に役立ててもらいたいとの意向で、アルコール消毒液が寄贈されました。いただいた消毒液は、玄関や事務室などに設置され、保育所の感染症対策に活用しています。あたたかいご寄贈をありがとうございます。



↑商工会女性部本部長の本田氏(右)と事務局の山本氏(左)

9/26 みどりと親しむ町民の集い 緑豊かな住みよい町へ

第27回みどりと親しむ町民のつどいが、宮の森公園の奥の林で実施されました。例年は、苗木を植える植樹活動を行ってきましたが、今回は新たな試みとして、樹と周囲の植物の生育環境を整える枝打ちが行われました。石井町長は「雄武町が、緑豊かで住みよい町となるよう、今回の育樹活動とおして、樹に対する親しみを町民の皆さんにも感じてもらいたい」と話していました。



↑一生懸命枝打ちをする参加者たち



↑みそラーメンを食べる豊丘小学校の児童

10/6 NPO 法人おうむプロジェクト 玉ネギ・ジャガイモの提供 採れたて野菜にご満悦

NPO 法人おうむプロジェクト様から各小中学校に玉ネギとジャガイモの提供があり、これらの野菜は、学校給食のみそラーメンとツナポテトチーズ焼きに使用されました。

提供を受けた野菜は、今回取材した豊丘小学校の児童が収穫を手伝っていて、児童は「自分たちで収穫したものだからよりおいしい」と笑顔を見せていました。



↑今回表彰を受けた佐藤氏(左)と菊地氏

10/7, 22 交通栄誉章緑十字銅賞および北海道警察本部長・北海道交通安全協会会長連名表彰交通安全協会長表彰 地域の交通安全に寄与

この度、多年にわたる交通事故の防止と交通秩序の確立に貢献した功績をたたえ、交通栄誉章緑十字銅賞を佐藤政道氏、北海道警察本部長・北海道交通安全協会会長連名表彰を菊地次男氏が受賞されました。

お二人の受賞に心からお祝い申し上げますとともに、今後のご活躍を祈念いたします。

10/11 風の子ミニフェス開催 元気に遊ぶ子どもたち

児童センターで、さまざまな遊びをとおして子どもたちの挑戦する力や、探求心を高めることを目的とした風の子ミニフェスが開催されました。射的や型抜き、スーパーボールすくいなどのお店があり、児童たちが中心となって出店の準備から運営までを行いました。この日は、1、2年生児童がお客さんとなって、上級生のお兄さんお姉さんたちが下級生をもてなし、児童たちは楽しいひと時を過ごしていました。



↑景品に狙いを定める児童



↑ホースでの放水体験をする園児

10/15 若草保育所消防士体験 消火活動に初挑戦

若草保育所で消防士体験が行われました。園児たちは、消防車の前で記念撮影を行い、その後、年長児が防火服を着て放水体験をしました。消防士に手伝ってもらいながらホースを握り、数メートル離れた的に向かって放水。園児は勢いよく飛び出す水に驚きながらも一生懸命に的に向かって水を掛けており、見学している園児たちも大きな声で応援していました。

10/17 読書強調月間事業 ヒグマについて学ぼう

雄武町図書館「雄図びあ」で、町内の読書活動の普及促進を目指す読書強調月間の一環として、北海道立総合研究機構自然環境部の釣賀一二三氏を講師に招き、私たちの生活の身近にいるヒグマの習性や、出会ってしまった時の対処法などについての講話「ヒグマについて学ぼう」が開催されました。講話の中では、座学のほかに実際のヒグマの頭がい骨の標本や毛皮などに触れながら、参加者たちはヒグマへの理解を深めていました。釣賀氏は「クマに関する正しい情報と知識を身につけ、人とクマの共存につなげてほしい」と話していました。



↑ヒグマの年齢の調べ方について説明する釣賀氏



↑開設挨拶をする一般社団法人「イコロ」代表理事中島氏

10/1 地域活動支援センター「ココカラ」開設式 地域の新しい憩いの場に

この度、町内初の地域活動支援センター「ココカラ」が旧包括支援センターに開設されました。「ココカラ」は、さまざまな障がいのある人の居場所となるよう、内職可能な軽作業や地域交流などを行う通所施設で、運営を担う一般社団法人「イコロ」代表理事の中島氏は「障がい者が生きがいをもち活躍できる活動の場、働く楽しみを感じられる場になってほしい」と力強く話していました。